

高品質肉用鶏生産のための父系軍鶏の検定結果

(畜試 中小家畜部)

1 背景とねらい

県では昭和60年に「南部かしわ」を開発し、年間約2万羽が生産されている。父系軍鶏として東京都畜産試験場の系統（以下、東京系）を供用してきたが、羽色の黒い「南部かしわ」の割合が多く、脱毛後にも紫色のスポットとして残るため消費者のイメージが良くないことが指摘されている。

そこで、岩手畜試が繋養する東京系と農水省家畜改良センター兵庫牧場が改良中の軍鶏（以下、兵庫系）を調査・比較し、若干の知見を得たので参考に供する。

2 技術の内容

(1) 調査鶏の作出と飼養方法

「南部かしわ」の母系（ホワイトロック×岩手大型ロード）群を1室15羽とし、その中に東京系または兵庫系を3羽混飼して種卵を採取、孵化した。孵化後4週齢までは育雛機に収容し、その後は育雛バッテリーで肥育した。飼料は市販のプロイラー用配合飼料を給与し、雄は14週齢、雌は16週齢で屠殺・解体した。

(2) 羽色の発現状況

発生時には東京系の38%が黒であったが、兵庫系に黒はなかった。出荷時には「漆黑」を示す個体が東京系で27%、兵庫系では2%であり、兵庫系の利用により「漆黑」の個体を排除できることが判明した。（表1、表2）

(3) 発育成績

兵庫系は12週齢までの初・中期の発育に優れ、一方、東京系は12週齢以降に極めて発育が優れており、仕上がり体重には差がなかったが、兵庫系が仕上がり均一性に優れていた。

（表3、表4）

(4) 出荷率

出荷率については差がなかった。（表5）

(5) 解体成績等

生体に対する屠体の割合は東京系雄がわずかに高かったが、消費者嗜好の高いモモ肉の重量は兵庫系が有意に重く、兵庫系を利用することにより赤肉を増加できることが確認された。また肉色については、明度に系統間の有意差が認められなかったことから、肉質は系統間で差がないものと推定される。（表6）

3 指導上の留意点

(1) 兵庫系軍鶏は昭和45年に導入、平成4年に赤笹系と黒色系に分離された中型種で、今後さらに増殖性、産卵性、羽色の改良が期待される系統で、種卵の譲渡を受けて供用できるものである。

(2) 兵庫系軍鶏は県畜産試験場が孵化・育雛を行い、供用開始間際に供給する。

4 試験成績の概要

表1 発生時の羽色 (単位:羽、%)

系統 羽色	東京			兵庫		
	雄	雌	計 (%)	雄	雌	計 (%)
黒	16	22	38 (38)	0	0	0 (0)
茶	19	13	32 (32)	25	28	53 (56)
薄茶	4	4	8 (8)	4	0	4 (4)
黄	10	11	21 (21)	27	10	37 (40)
計	49	50	99(100)	56	38	94(100)

表2 試験終了時の羽色 (単位:羽、%)

系統 羽色	東京		兵庫	
	羽数	割合	羽数	割合
黒	26		2	
黒地に茶	20	48	42	48
茶地に黒	8		19	
茶	22	52	16	52
ごま	12		11	
おうど	8		2	
計	96	100	92	100

表3 発育成績 (各週齢の体重)

(単位: g)

性・系統		餌付時	4週齢	8週齢	12週齢	14週齢
雄	東京(47)	43.5±3.2	465±48	1278±97	2243±177	2734±257
	兵庫(54)	44.2±2.8	509±49	1339±89	2398±164	2756±172
雌	東京(49)	42.5±2.7	427±43	1117±94	1855±154	2167±163
	兵庫(38)	43.3±2.3	429±38	1143±62	1882±106	2111±117
系統間有意性		N.S.	**	**	**	N.S.
東京平均		43.0±3.0	446±49	1196±125	2045±255	2445±356
		=				=
兵庫平均		43.8±2.6	476±59	1258±125	2185±292	2489±354

表4 発育成績 (1日平均増体重)

(単位: g)

性・系統		1D~4W	4W~8W	8W~12W	12W~14W	4W~14W
雄	東京(47)	15.1±1.7	30.1±2.6	35.7±4.2	34.7±11.1	27.7±2.7
	兵庫(54)	16.6±1.7	30.8±2.3	37.8±3.6	25.6±5.2	28.0±1.8
雌	東京(49)	13.7±1.5	25.5±2.4	27.3±3.4	22.0±5.1	21.9±1.7
	兵庫(38)	13.8±1.3	26.4±1.7	26.4±2.3	16.3±3.9	21.3±1.2
系統間有意性		**	**	**	**	N.S.
東京平均		14.4±1.7	27.8±3.4	31.4±5.6	28.2±10.6	24.8±3.7
						=
兵庫平均		15.4±2.1	29.0±3.0	33.1±6.4	21.8±6.5	25.2±3.6

表5 出荷率 (単位:羽、%)

項目	供試数	仕上数	割合
東京雄	49	47	95.9
東京雌	50	49	98.0
兵庫雄	56	54	96.4
兵庫雌	38	38	100
	193	188	97.4

表6 解体成績

(単位: g)

性・系統		絶食 減少量	屠体 重量	屠体 割合	ムネ 重量	モモ 重量	精肉 歩留り
雄	東京(25)	99±29	2.57±2.2	93.6±1.8	314±47	564±59	37.8±2.0
	兵庫(25)	99±27	2.52±1.5	91.2±1.7	301±28	574±51	38.4±1.6
雌	東京(25)	53±31	2.13±1.8	91.6±1.7	293±41	473±47	40.4±2.2
	兵庫(25)	47±28	2.09±1.3	91.1±1.7	291±23	475±29	41.0±2.0
系統間有意性		N.S.	N.S.	**	N.S.	*	N.S.
東京平均		76±37	2.34±3.0	92.6±2.0	303±45	516±70	39.2±2.4
		=	=		=		=
兵庫平均		78±37	2.34±2.6	91.2±1.7	296±26	533±65	39.5±2.2